



闘牛太鼓

村民の寄付で
太鼓がそろそろ

三月十八日、闘牛太鼓の太鼓がそろいました。二尺の大胸(天太鼓)と尺七寸の中胸(中太鼓)と四寸の小胸(小太鼓)が五つです。去年、闘牛太鼓保存会(青木秀敏会長)が、太鼓購入のため村民に寄付を募ったところ、三百十二万円が集まり、この浄財で購入したものです。また、はつぴなどもそろえられました。太鼓の会の名前も「鼓龍会」と決まり、会長は広井利信さん。さつきく真新しい太鼓を打ちます。「太鼓は打ち込んでやらないとい音出ない。春、角突きが本番になれば、こつちも本番。せいせい打ち込んでおなぐちや」と。

会員募集 「鼓龍会」では、会員を募集しています。男女、年齢は問いません。連絡は広井 ☎59-12193へ。

健康相談

～日ごろから心と身体の健康管理を～

期 日	会 場	時 間
4月17日(水)	種 苧原上村 担い手センター	10:00~15:00
18日(木)	虫 亀 診 療 所	10:00~12:00

献血にご協力ください

4月23日(火)
村民会館
午前10時~12時
種苧原農協
午後1時~3時



犬の注射・登録

今年から、狂犬病予防注射は年1回になりました。犬を飼っている人は、必ず受けてください。

期 日	会 場	時 間
4月25日(木)	虫 亀 診 療 所	10:15~10:45
	東竹沢教員住宅	11:00~11:20
	役 場	11:30~12:00
	民 俗 資 料 館	13:00~13:20
	種苧原公民館	13:40~14:00

▶料金(注射・登録)……4,700円
▶持参するもの……印鑑、愛犬手帳

農改普及所山古志支所 36年余の幕をとじらる



お知らせ

三古農業改良普及所山古志支所が、三月末で閉所されることになり、三月五日に閉所式が村民会館で行われました。この普及所、昭和二十三年十一月に旧種苧原村役場に事務所が開

設されて以来二十六年余り、村の農業の振興に寄与してきました。とくに、折衷苗代や共同防除、機械の導入、また、生活改善指導、グループ育成などに多くの業績を残しています。



3月5日の閉所式

一昨年、行政改革で普及所の統合計画が発表されました。村では山古志支所の存続の働きかけをしてきましたが、その願いも空しく、閉所されたものです。四月からは、普及所の本所で業務を行います。

三古農業改良普及所
長岡市長倉町四六〇一
☎三三五一三三四

あなたの固定資産を
確かめてみませんか

自分の財産(土地・家屋)がどのようになって登録されているか、その評価額がいくらになっているかなど確かめてみませんか。今、固定資産税の課税台帳をお見せしています。希望者は次の期間内においでください。

縦覧期間 四月八日~二十七日
縦覧場所 役場税務課

長岡保健所が 移転します

長岡保健所が、四月十八日に移転します。
▽移転先
長岡市川崎町字前田二七二一
(長岡総合庁舎東側脇)
☎三三三四九三〇
▽移転日 四月十八日(木)

5月1日 商業統計調査

卸売業 小売業を営んでいるすべての商店を対象に、三年ごとに行われている調査です。調査員がお伺いしますので、よろしくご協力ください。(総務課) 商業統計調査員
長島 半 坂牧 兵衛
松井孝一郎 星野 透

村民会館の図書 を貸し出します

村民会館の図書視聴覚室には、昨年より順次図書をそろえ、現在県立図書館から借りている本も含め、二千三百冊あります。四月から、これらの図書を貸し出しますので、ご利用ください。貸出日 毎週火曜、金曜 貸出冊数 一人五冊まで 貸出期間 十日間



3月定例
村議会

60年度予算など 34件を可決承認



六十年第一回定例村議会は、三月六日から十六日までの会期で開かれました。村長提出議案三十三件、議員提出議案一件が提出され、審議が重

村議選の結果

当日の有権者数	2,542人
(男 1,269人、女 1,273人)	
投票者数	2,469人
(男 1,219人、女 1,250人)	
投票率	97.13%
(男 96.06%、女 98.19%)	
投票の内訳	
有効投票	2,454票
無効投票	15票
当選者の所属党派	
無所属	14人
次点	
齊藤 正助	117票
星野 一夫	116.882票



青木 秀敏 63歳
149票・油 夫
当選8回(前)



関 幸作 53歳
153票・梶 金
当選1回(新)



高野新之丞 54歳
147票・間内平
当選3回(前)



星野 義雄 60歳
148.117票・下 村
当選3回(前)



金内 栄吉 61歳
136票・種芋原
当選5回(前)



佐藤 武一 64歳
145票・虫 亀
当選4回(前)



開票……開票は、午後7時30分から、村民会館大ホールで即日開票されました。激戦だったため、7時前から続々と参観人が集まり230人に。有権者の1割近くが参観し、参観人席は身動きできないほどぎっしりになりました。10人の立会人、参観人、報道関係者などが見守る中開票が進められ、各候補者の得票が全員100票台という予想どおりの接戦でした。開票が終わり、小川八郎選挙長(選管委員長)が結果を発表したときには、もう10時になっていました。

村議会議員

新しい私たちの 代表14人

任期満了による村議会議員一般選挙が三月二十四日に行われ、新しい村議会議員十四人が決まりました。私たちの最も身近な代表者を決める選挙で、関心も高く、九七・二三%という高い投票率となりました。村議会は、村政の方向づけをする最高の機関です。村議会議員はこれから四年間、村民の代表として公正な立場で、村の発展のために活躍します。

新議員の顔ぶれ

氏名(敬称略) 年齢
得票数・集落
当選回数



五十嵐要吉 68歳
183.516票・大久保
当選3回(前)



五十嵐秀夫 56歳
179.483票・虫 亀
当選4回(前)



小川 金雄 59歳
170.005票・小松倉
当選3回(前)



樺沢三治郎 36歳
162票・種芋原
当選1回(新)



坂牧 正憲 47歳
158票・種芋原
当選4回(前)



高野 哲四 54歳
153票・桂 谷
当選5回(前)



小川惣右衛門 54歳
167.994票・種芋原
当選2回(前)



小幡 勝 57歳
168票・種芋原
当選3回(前)

条例関係

ねられた結果、それぞれ原案どおり可決承認されました。主な内容は次のとおりです。(六十年度当初予算は、四、五ページで紹介いたします)

- ▽特別職給与と条例の一部改正
- ▽教育長 " " "
- ▽消防団員 " " "

特別職、教育長、消防団員の給与を四月から引き上げます。三役、教育長、議員の報酬・給料月額を、平均六・三%引き上げました。

副議長 一〇六、〇〇〇円
常任委員長一〇三、〇〇〇円
議員 一〇一、〇〇〇円

- ▽工場設置奨励条例の制定

村内での働き場を増やすことができるように、村内に一定以上の工場を造った場合の優遇措置を設けました。

対象は、公害を発生しないなどの工場、新設の場合は投下固定資産額一千万円以上で常用雇用者八人以上、増設の場合は投下固定資産額五百万円以上で増加する常用雇用者五人以上のものです。

これらの工場には、三年間固定資産税を減免するほか、工場の設置について村でも必要な協力を行います。

- ▽行政改革推進委員会条例の制定

効率的な村政を行うため、委員

会(委員十人以上)を設けて審議することになりました。

なお、役場内でも推進本部(本部長・村長、本部長・各課長)を設け、行政改革に取り組みます。

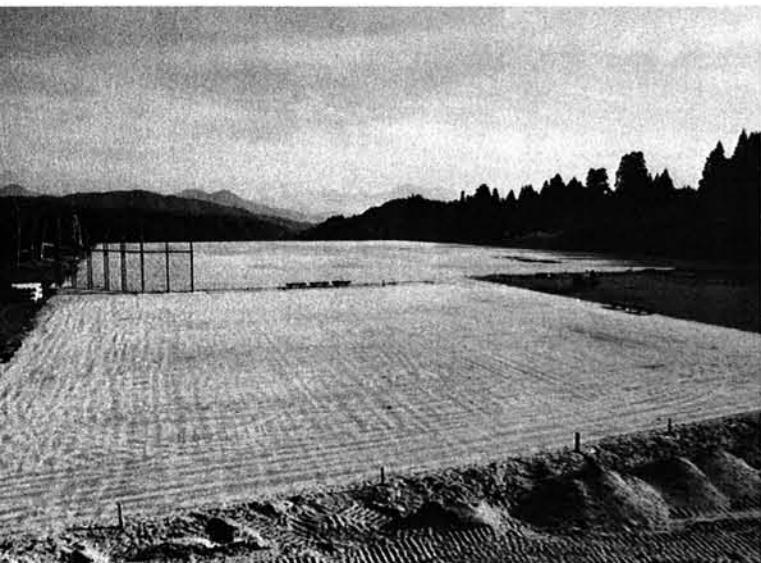
- ▽農村運動広場の設置条例の制定

種芋原に建設したスポーツ広場の設置などを定めたものです。今年に管理棟、来年には照明が設けられる計画です。大いに利用したいのだと思います。

- ▽村議会委員会条例の一部改正 (議員提出議案)

議会の常任委員会は、今まで総務委員会、産業厚生委員会、建設委員会の三つでした。これを、『総務厚生委員会』と、『産業建設委員会』の二つにしました。委員はそれぞれ七人です。

(次のページに続く)



▲スポーツ広場……今年管理棟、来年照明ができ、ますます充実します。大いに利用してください。

今年度の村の事業を決める当初予算は、一般会計、特別会計合わせて一七億四、八八四万円(会計間繰り出しによる重複分を除く)を計上しました。

このうち、一般会計は一三億〇、二〇〇万円。厳しい財政状況の中で、前年度より八、

今年の

節約に努めて、長期的な財政運営を

国、地方とも財政状況はたいへん厳しくなっています。補助金の削減なども課せられており、地方交付税や国県支出金、村債などの依存財源にたよっている村にとっては、財源の確保がいつそう厳しくなってきました。いっぽうでは、村の借金である村債の現在高は年々多くなり、それを返すための公債費も増え続けて、今年はどうとう歳出のトップに上ってしまいました。村債の発行は、後年度に負担を残すため、長期的な財政運営をしなければなりません。

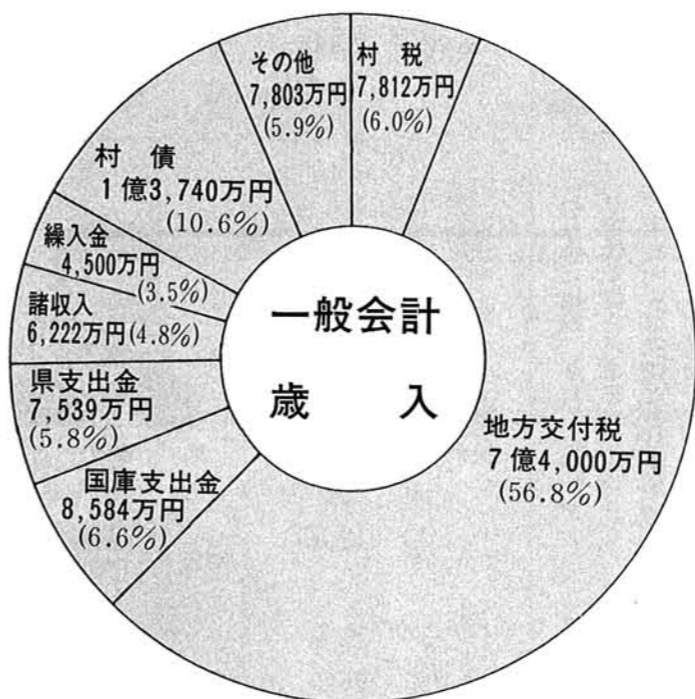
二九〇万円、六・〇%減少しました。今年はどうなる事業をするのか、主なものを紹介しましょう。(本文中の金額は百万円未満四捨五入します)

60年度当初予算

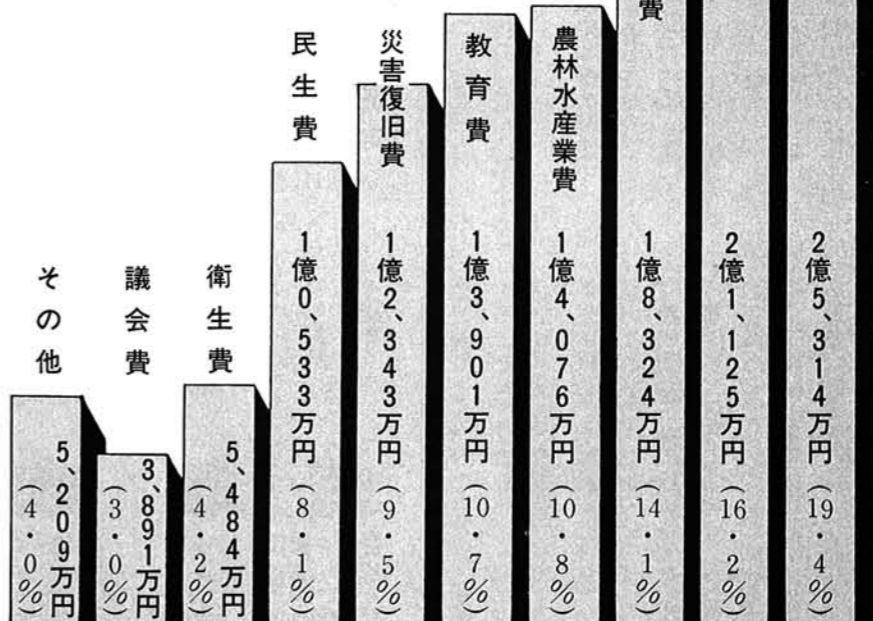
一般会計	13億0,200万円(-6.0%)
国保会計	2億3,564万円(-3.1%)
診療所会計	7,775万円(-6.4%)
老人保健会計	1億6,820万円(+1.0%)

()は59年度当初予算との比較

一般会計 13億0,200万円に



一般会計歳出



人事関係

▽特別会計設置条例の一部改正
農業共済事業の合併に伴い、農業共済会計を廃止しました。

任期満了による同委員に、青木健一さん(六十歳、下村)の再任が同意されました。

▽固定資産評価審査委員

任期満了による同委員に、関和男さん(六十八歳、梶金)の再任が同意されました。

補正予算

▽一般会計(補正第四号)

一、七六八万円追加し、総額は一五億九、七二一万円となりました。歳出の主なものは次のとおり

- ・財政調整基金積立一、〇〇〇万円
- ・農業共済広域化補助金 七十七万円
- ・除雪対策費 七九三万円
- ・災害復旧費 (減)二七六万円

年度末に当たり、国保会計(減)三七〇万円、診療所会計(減)三〇万円、農業共済会計七十七万円、老人保健会計で医療給付費の追加で、一五〇〇万円を補止しました。

道路

基幹道路を整備

- ・今年も、基幹村道を中心に、次の路線を整備します。また、雪上車の更新や県工事を促進します。
- ・虫電間内平線(虫電) 改良
- ・梶金桂合線(大久保改良・舗装)
- ・小松倉中央線(小松倉) 改良
- ・城山線(種芋原) 改良
- ・横坂橋(リ) 掛け替え
- ・雪下車一台 (更新)

産業

スポーツ広場オープン

雪融けとともに、種芋原に建設したスポーツ広場をオープンします。今年も管理棟、来年は照明を設置する計画です。

その他

- ・虫電では、待望の集落センター(補助事業)が建設されます。
- ・このほか、次の事業を行います。
- ・林道城山線開設(種芋原)
- ・錦鯉越冬施設(虫電)
- ・村単回場整備(田、農道舗装)

公債費

村の事業を進めるために村債は欠かせません。しかし、もとは借金、後年度に負担を残します。

福祉・衛生

- ・老人の福祉に―一、六〇〇万円
- ・保育所や児童手当 青少年の育成に―一六、八〇〇万円
- ・成人病や結核検診、予防注射などに―七〇〇万円
- ・母子の健康に―二〇〇万円
- ・し尿や不燃ごみ収集に―五〇〇万円

その他

- ・バス運行補助金―一六〇〇万円
- ・防火水そう(種芋原、虫電)
- ・消防ポンプ積載車を梶金に配置
- ・広報やまこし発行―一〇〇万円

闘牛太鼓の中胴をたたく

「振り付けまでやると、みんなびしっとそろろう」

小川恒英さん 種芋原

小川恒英さん(35歳)は、闘牛太鼓の中胴(中太鼓)をたたいています。闘牛太鼓が始まったのは、一昨年の春。小川さんも「太鼓をたたくのは好きだったが、村の中では盆と祭りのときだけ。みんながいつしよにたたけるのがほしい」と思っていた。そんなとき声をかけて

ようと思ったことがあるんです。あまり上手にならないし……。でも、やっぱり太鼓が好きだし、やめると、むしろみんなに迷惑かけるから。最近、新しい人が二人入ったが、やっぱり若いのは覚えがいい。今回、村民の寄付で新しい太鼓がそろえられました。それまでは、



盆太鼓を借りてきたり、タイヤを代わりに打っていました。「新しい太鼓は、響きがいいし、たたいて気持ちがいいね。村の人の寄付で買ってもらった太鼓ということで、みんなはりきっているしね」

小川さんは(有)山古志自動車に勤務。自動車修理は二十年近いベテランです。「以前に比べて、車の造りも変わったね。修理の内容も昔とかなり違っている。でも、仕事はおもしろいし、いろんな人を知ることが出来る。今度、車のセールスで、みなさんの所へ行くのでよろしく」と。



60年『牛の角突き』日程

午後1時開始(雨天決行)
一般席 1,000円、さじき席 2,000円
(団体15人以上10%割引)

Table with columns for locations (山古志村, 小千谷, 広神) and months (5月 to 11月) showing event dates.

「みんな酒好きの顔、飲み屋を作ったら」

村内若手と松下政経塾の懇談会

三月十七日、村民会館で、村内の若手と松下政経塾生との懇談会が開かれました。松下政経塾は、松下幸之助氏が五年前、「二十一世紀の国づくり」に設立したもので、全国各地から若い優秀な人材が集まっています。この日は、塾生の現地研修として、小千谷市の広井忠男県議の紹介で、政治家志望の四人の塾生

中村昌枝講演会



三月二十六日、村民会館で、東京オリンピック・女子バレーボール

金メダリストの中村昌枝さんの講演会が開かれました。聴衆は百二十人。

中村さんは旧姓河西。ニチホー貝塚(現ユニチカ)、オリンピックキョーベンのキャプテンとして活躍しました。また、六人制バレーボールの先駆者であり、回転レシーブなどを生み出し、『東洋の魔女』の名声を博しました。現在は、二男一女の母親として主婦業のかたわら、講演、バレーボール教室の指導などを行っています。

民芸品展示会

4月14日(日)
午前11時～午後2時
種芋原温泉センター



が重要だったんです。バレーをやめて二十年、嫁として女として、バレーをやったあの苦勞を身に付けることができたからこそ、今の幸せがあると思います。だれでも一日二十四時間、今をせいっぱい生きることが大切なんです。

役場人事異動

- 四月一日付け、()は旧所属
退職は三月三十一日付け
■総務課 榎沢正雄(産業課)
■税務課 小林梅野(住民課)
■住民課 坂牧徳三郎(農業委員)
■星野フジエ(産業課)
■産業課 高野定雄(総務課)
■農業委員会 川上幸治(教育委員)



が来村しました。いっぽう、村内からは、商工会青年部、青年農業者、役場職員の若手など十二人が参加。

テーマは「村おこし、地域おこし」。過疎や闘牛、錦鯉など村の実態や村民の意識をもとに話し合います。塾生もアドバイスしてくれます。

「官(行政)が何をやるか、民(住民)が何をやるか、明確にしておくことが大切」
「例えば、二村一品運動。民間主導で行政がそれをサポートするというほうが成功例が多い」
「産業には、誇りが必要。そこでしかやっていけない、とか」
「悪い点も大切だが、まず村のいい点を見ることが。そうすると夢がある」
「村だけの狭い範囲じゃなく、東京とか外にも目を向けて」
「山古志村の応援団づくりを。転出した人とか、周りの市町村の人とかで」
また、「こういうメンバーで話しをしたのは初めて。なかなか機会がない」というと、「みんな酒好きの顔。自分たちで飲み屋をつくら。飲みながら話せばいい」。

- 会 ■教育委員会 佐藤誠志(住民課)
■種芋原保育所 松田イツ子(虫亀保育所)
■種芋原小学校 坂牧八枝(種芋原保育所)
▼新採用 住民課保健婦 小川美佐子
▼退職 小沢亀治郎(税務課)、高野トセ(総務課)、坂牧ハナ(種芋原小学校)
また、派遣社会教育主事井川聖さんは十日町市東小学校へ転任されました。